

献金について

札幌北部教会 牧師 久世そらち

*献金の意味

教会での献金は、ごりやくを願うおさいせんではありませんし、たんなる教会の会費でもありません。今日までの歩みの中で神から与えられてきたゆたかな恵みにこたえ、感謝して御前にさしだすものです。教会の宣教の働きは、こうした献金によって支えられています。わたしたちは、献金を通して、自分自身を神の福音の宣教のためにささげるのです。

聖書は「十分の一の献げもの」を教えてください(創世記28:22 など)。聖書の時代の人々は、収入として与えられた収穫の十分の一を、しかも余った物ではなく初穂をささげました。つまり、収入から、まず神へのささげものを先に取り分けてささげたのです。いっぽう、「各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。」(コリントⅡ9:7)とも勧められています。自分自身の信仰にもとづいて、どのように献げるべきか、祈って決断しましょう。

教会は、このように信仰の証しとして主のためにささげられる献金を、主のみわざのためにふさわしく用いるよう毎年の総会で教会の宣教の働きと予算を定めます。また逆に、そうした具体的な働きを覚えて祈り、自分の力に依拠して進んで献金を献げることで、主に仕える信仰も養われるのです。

また、献金は、教会につながり教会を支える交わりのしるしです。事情で礼拝に長く出席できないときも、献金を送ることは教会につながっているこ

あか
との証しとなります。

*礼拝献金

れいはい
礼拝のときには、できるだけ始まる前に献金を用意しましょう。うけつけ ふくろ
受付で袋を
う と いっしゅうかん しゅ
受け取り、一週間に主からいただいた恵みにふさわしい、せい いっぱい ささ
ものを用意します。

*月定献金

きょうかい はたら
教会の働きは「すべてのことを適宜に、かつ秩序を正して行 うがよい」(コ
リントⅡ 14:40)と勧められています。しゅ たく せんきょう はたら けいかくてき
主から託された宣教の働きを計画的に
てきせつ おこな
適切に行 うために、まいとし きょうかいそうかい いちねんかん きょうかい はたら
毎年、教会総会で一年間の教会の働きとそのための
よさん さだ
予算が定められます。きょうかいよさん ささ うら
教会予算を支える裏づけとなるのが月定献金です。げっていけんきん けいかく
計画
された教会の宣教の働きをどのように支えるかを考え、それぞれにしんこう
信仰を
もって決断した額を毎月ささげます。なんかげつぶん いちど
何ヶ月分も一度にささげるのではなく、つき
ごとにきょうかい いの
教会のために祈ってささげましょう。

げっていけんきん ふくろ かいけい ようい ささ さい ふくろ ひづけ きんがく きにゆう
月定献金の袋は会計で用意します。献げる際は、袋に日付・金額をご記入
ください。れいはいけんきん とも
礼拝献金と共にささげるか、あるいはかいけい ちよくせつ わた
会計に直接お渡しください。
えんかくち ばあい きょうかい ゆうびんふりかえこうざ りよう
遠隔地などの場合、教会の郵便振替口座を利用することもできます。

*自立連帯献金

にほん きょうかい おうべい きょうかい しきんえんじょ おお たよ
かつて日本の教会は、欧米の教会からの資金援助に大きく頼っていました。
がいこく えんじょ じりつ ねが つよ しえん ひつよう
やがて、外国の援助から自立しようという願いは強くなりましたが、支援の必要
ちい きょうかい じぶん ささ いしき つよ そだ
な小さな教会を自分たちで支えようという意識はあまり強く育ちませんでした。
しせい はんせい がいこく えんじょ じりつ どうじ きょうかい たが
た。このような姿勢を反省して、外国の援助から「自立」し、同時に教会が互い

に「連帯」して支え合うために、北海教区では謝儀保障制度などの財政的なし
くみを整えてきました。現在、小規模教会を支える謝儀保障費のために約2350
万円が用いられ、またその他教区活動一般のために約2700万円が必要とされ
ています。これらを、教区総会での決定に従い、教区内の諸教会で分担し
ています。北部教会の2014年度の教区分担金は約100万円でした。

北部教会では、こうした働きのための献金を「自立連帯献金」として献げ
ています。教区における支えあいのために、これも毎月の一定額を各自で決断
して定めます。月定献金の袋の「特定献金」の欄を「自立連帯献金」と書き換え
て用いてください。

*特別感謝献金

日々の歩みの中で大きな恵みを与えられた時、記念すべき時などにすすんで
献金をささげます。誕生日・受洗記念・結婚記念・召天記念など、人生の節目
を覚えるのはよいことです。とくに死に際しては生涯の歩みを感謝する最後の
献げものができるよう備えておきましょう。またイースター、クリスマスの感謝
献金の他、夏期特別献金をよびかけています。年間の予定にお覚えください。

*会堂建築献金

2008年度、私たちの教会は長年祈ってきた新会堂・牧師館を建築しました。
資金として借り入れた教会債(残金120万円)および教区からの借入金(残金
400万円)の返済が課題です。引続き会堂建築献金をお献げください。専用の
献金袋を配布していますので、月ごとに一定額を献げるほか、随時の献金にも
ご利用ください。口座振込を利用したい方は会堂管理委員会にご相談ください。

*地区宣教協力献金

ほっかいきょうく かくちく どくじ かつどう も れんたい つく
北海教区の各地区では、それぞれ独自の活動を持ち、また連帯のしくみを作
っています。札幌地区では諸教会が支え合うために「地区宣教協力献金」
を呼びかけ、これにより2014年度は5教会に110万円を献げることとしていま
す。このために北部教会では独自の袋を作成して教会員に配布し、地区の
しよきょうかい おぼ つき ささ
諸教会を覚えて月ごとに献げるようにしています。

*袋献金

きょうく はたら きんきゅう さいがいえんじよ きょうかい とくてい はたら
教区のさまざまな働きや、緊急の災害援助のためなど、教会の特定の働
きのために献金を募ることがあります。しばしばそのための献金袋が配られま
す。献金の趣旨は、袋に記されていたり掲示板に張り出されたりしていますの
で、これらの課題のために祈り、その働きを支える献金に協力しましょう。
けんきん ふくろ い れいはいけんきん けんきんぶくろ
献金は袋に入れ、礼拝献金といっしょにささげます。献金袋はそれぞれの
しゅうほうだな うけつけ ようい
週報棚または受付に用意されます。

*隠退教師を支える運動 100円献金・謝恩日献金

にほん きょうだん いんたいきょうし ささ うんどう ほっかいきょうく はじ
日本キリスト教団の「隠退教師を支える運動」は、北海教区から始まって
ぜんこく ひろ うんどう せいかつほしょう じゅうぶん いんたいきょうし ささ まいつき
全国に広がった運動です。生活保障の充分でない隠退教師を支えるため毎月
ひとくち えん けんきん いちど ささ
一口100円の献金をささげます。これも、一度にまとめて献げるよりも、たえず
おぼ いの もと
覚えて祈ることが求められています。

べつ きょうだんねんきんきょく がつ しゃおんび しゃおんびけんきん
これとは別に、教団年金局からは11月の「謝恩日」にあわせ、「謝恩日献金」
よ きょうだん きょうしねんきんきん ささ
が呼びかけられています。教団の教師年金基金のために献げられます。

以上